



本校の摂食指導について



摂食指導とは、「児童・生徒一人ひとりの食べる力に応じて、安全に、そして楽しく食事ができるように、食べる力を育むための指導」です。本校では、摂食指導（食べる練習や支援）については、原則として年に1回、摂食検討会にて検討しています。



摂食検討会とは

学校で給食を食べている児童生徒のうち、小学部新入生と主に特別食（初期食・中期食・後期食）を食べている児童生徒を中心に、食べる力の発達段階や支援方法、食形態（食べ物のやわらかさ）などを中心に検討を進めています。外部専門家【言語聴覚士（ST）】や栄養教諭、養護教諭も参画し、一人ひとりが安全に、そして楽しく食事ができるように、専門的な視点を共有しながら指導の方針を確認しています。

本校の食形態について

本校の給食は、児童生徒一人ひとりの「食べる力」に応じて、4段階の食形態を用意して提供しており、一人ひとりの食べる力に合わせて提供されます。本校のFacebookでは、毎日の給食を4段階の食形態で紹介しておりますので、ぜひご覧ください。



今後も、ご家庭と協力しながら、お子さんの「食べる力」を伸ばしていけるよう努めてまいります。気になることやご不安なことがありましたら、どうぞお気軽に担任を通して自立活動部までご相談ください。

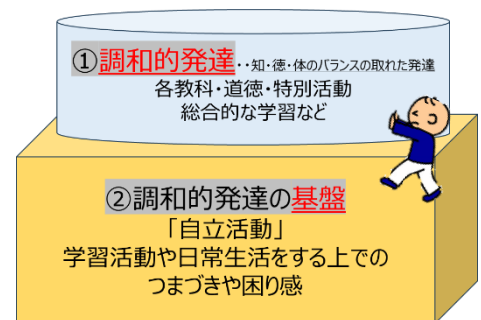
「自立活動」って何しているの？



自立活動の指導には各教科での学びを下支えする役割があります。児童生徒が前向きに取り組み、元気に過ごすこと、気持ちを落ち着けること、人や物とうまく関わることなど、生活や学びの土台となる力を育てていこうとするものです。

自立活動で培う力の例として、「安定した体調、よく働く目や耳、活動を支える姿勢、人や物とのかかわり方、自分の障がいへの理解」などがあります。児童生徒一人一人の実態に応じて自立活動の目標や内容を作成していますので、オリジナルな目標や内容になるということ

教科と自立活動の関係図



自立活動の時間で目指す姿（例）

自分で足を前に出して
一歩ふみだせた！

自分の考えを言葉にし
て伝えられた！

さわりたいと自分から
何度も手を伸ばした！

緊張した手、ふっと力を
抜くことができた！

「やってみたい」と思うことができ、自分から取り組み、「できた！」と感じられる内容を実践していくため、児童生徒と一緒に、自立活動の目標や内容を一緒に考え、取り組んでまいります。